武雄市議会だより
栄八通信
第43号
147 ⑩ 月末発行

武雄市議会議員
宮本栄八
TEL・FAX 23-0750
携帯 090-5083-0793

公共下水道マップ見直して水洗化100年計画が20年に！

公共下水道整備100年計画と言い出したのは私だが、旧武雄市の下水道整備計画が、現実的でないことを解り易くする為に用いた。

要は、都市計画決定と言って国に正式に認可を受けている整備地区である武雄町中心部183haを30年で行なう計画になっていて全体の整備構想の624haを単純に計算し、現在の事業の遅れを勘案すれば100年もの計画になる。

そしてまた下水道施設が100年ももつ訳がなく、新規整備の途中で、更新事業が発生し、事業が先に進まないまぼろしの計画。

そこで、下水道整備計画である下水道マップの見直しをして、市設置型の浄化槽地区への大幅な変更をH15年からずっと提案して来た。それは、公共下水道で一世帯水洗化するのに、400万円程度かかり、浄化槽の場合100万円程度で、整備できるので、市の財政や、水洗化率アップにも役立つと思ったからです。

H20年に旧武雄市の農排地区を見直した。今回の下水道マップ見直しでは、公共下水道で整備を予定していた北方町と朝日町・また武雄町の(下西山・上西山・武雄区など)の西部がはずれ、市が設置する戸別浄化槽事業区域になり、15万円の加入金で水洗化できる。

これで、EM団子を百年も投げこまなくても良い事となった。

一方、公共下水道整備地区については、武雄町の中心部の当初の183haに先般追加した、新武雄病院の所の10haの193haの都市計画決定地区に加えて、まだ田んぼである東部地区33haを加え、275haとし、しかも183haが30年だったのを、275haを20年に早めて整備すると言う。正式な決定は、来年4月からを予定している。

また、未開発の東部地区を加えた理由は、将来、企業が進出して来た場合、公共下水道が適しているとの考えからとの話。

一方、公共下水道の事業費も、291億円から、81億円となり137億円の軽減を予定する。

また、戸別浄化槽は、20年間に4000基を目標にしていて、20億円の増と予定。

このマップ見直しで、差し引き約120億円が、市民負担が減った事となり、大変良かったと思う。

今後については、加入金15万円はどれも同じだが、先行していた農排が、使用料金(超過分)が、1㎥当り150円に対し、公共下水道と戸別浄化槽は180円と不公平になっていて、やはり150円に一度統一すべく議員活動する。

また、公共下水道の加入率が、採算の取れる約60%に対し、現在約10%程度で、抜本的対応が必要。

北方町
198ha ↓ 0
武雄町 朝日町
426ha ↓ 257ha

(除外)

西部広域の新ゴミ処理場 方式選定にマッタかかる！

H27年より稼動をめざす、杵藤地区・伊万里・有田地区の新ゴミ処理施設整備計画だが、第1のポイントである、場所問題は、市内武内町多々良に隣接する伊万里市の松浦バイパス途中の山手に内定。

第2のポイントは、焼却等の処理方式の選定です。

私は、昨年の末に決定されようとしていた為、広く住民向けの説明会を開くよう求めていた。

その理由は、セメント原料化システムが、急に浮上して来た様に見えて来たからです。これは、焼却灰を、セメント製造会社に、金を払って引き取ってもらう方式で、灰が地区外に出て行き助かるとの考え方や、またセメント原料として再利用できるとの理由も、わからないわけではありません。

しかし、国内セメント会社が、公共事業の削減するなか、減産はあっても増産は考えずらく、セメント会社自体の展望も不透明であり、又、引き取り価格が上げられた場合に、何ら対応ができず住民負担が増大する可能性があります。

そこで、一歩譲って、セメント会社に、引き取り義務や価格一定の契約書を交せば良いのではと提案するも、「引き取り確認書」程度しか交わせないとの返答であり、市民の代弁者として賛成できない。

又、セメントの原料化は、1t当り3万5千円（輸送込み）も払って、原料と言っても、無理やり原料化しているとしか思えず、しかもそのセメントは、塩分が多く使い道が限られていて流通にも課題とも聞く。

唯、私は、西部環境組合の議員ではなく、市の環境課や組合事務局に電話して状況把握や意見を言う位で、具体的な力はない。

組合は、4月の選挙後、新役員の基に決定する段取りで、セメント原料化が決定しそうであった。当然私は、何らかの行動はしなければと思っていた。

しかし、新組合議員の黒岩氏が私とほぼ同様な観点から、セメント原料化に対し、反対をされ、6月議会では、樋渡市長も同調された。

又、武雄市議会の全員協議会では、セメント原料化でなく、灰を熱で溶かし石状に無害化するスラグ化方式を推進するとの確認が取られた。

そんな関係もあって、組合長の伊万里市長である塚部氏が、「方式選定は、時間をかけて行なう」。として選定は実質的にストップしている。

処理方式の選定にあたっては、客観的な、判断材料として各システムの比較採点表があり、セメント方式が、点数が少し多くなっているが、今までの単なる埋立てが2番で、県の進めるスラグ化がその以下になっている採点表を見る時、まずこの採点表自体の信用性がなく、それに基づくセメントシステムも信用できない。（久留米市は3方式で入札。）

市民病院の売却と裁判問題「取り下げ」ねらい？

今9月議会、市長は、一般質問に答えて、議員の事業提案に対し決って、住民訴訟の費用が、1億3千万円かかるので、出来ない。

また、今年度の主な事業を列記したパネルを出し、これらの事業にも影響が出る。などと、裁判に市民の血税が使われると繰返し繰返し、強い口調で発言されていた。

要は、市長も与党系の議員も、裁判は、国民の権利と前置きするが結局、税が使われるので、市民の為にならないと繰返し、市民にアピールしてる意図があらわ。

取り方によっては、市の事業が進まないと驚かし、裁判の取り下げを狙っている様にも見える。

市民の方も、その影響で裁判を止めるべきとの意見。又、元々市長が原因を作ったとの声もある。

一方、市長は、住民訴訟の記者会見に同席したとして、共産党の江原、平野議員を繰返し批判され、江原議員には、質問する権利さえないと発言されるなど、ヒートアップ(後で市長の発言取り消し)

また、市長は「裁判は武雄市でなく、私を相手にしていただきたい。」そうすれば、市の血税は使わなくて良いとの発言である。

たぶん、住民訴訟団の方も、本来そうしたいが、住民訴訟法が、市しか訴えられず、市が敗れた場合、次に市が、市長に対して訴訟を起こして、取り戻す型となっている様だ。佐賀商工共済の場合も県の監督責任が求められ、井本元知事に賠償請求がされている様だ。

裁判費用の1億3千万円の内訳は、着手金、4千万円と成功報酬9千万円だが、今回、着手金は弁護士との間で、1千1百万円で契約し、現時点では、裁判費用は約1億1千万円と計算される。

また、最近市長は、最高裁まで行けば4億円かかると、裁判費用を多めに言うのは、やはり、意図があっての発言と見る。

私は、裁判の約1億円は交渉で少なくする事はできると考える。県は前の商工共済の弁護は、60万円で依頼していると言う。

たとえ、1億円になっても、市の事業がどれもこれも出来ないとは思わない。その理由は、予算総額210億円の約0・5%でありやりくりできる。たとえば、H21年度決算では不用額が約4億円、繰越金約9億円であった。

住民訴訟団の市民病院売却による約20億円の市の損害の根拠は、

①ベットの権利金
135床×1千万円で約13億円
②土地・建物の評価額
9億3100万円の半額に割り引いた残、4億6550万円
③医療機器の無償貸し付け分
2億6000万円

の合計の約21億円としてある。

たしかに、見方によっては、金額の大小はあっても、理論的にはうなずける部分はある。

市は、ベットの権利金は、ないと言うが、武雄市が国立武雄病院を買った意味は、南部医療の許可ベットの権利を引き継ぐため。

1千万はせずとも、1床3～6百万円の価値はあるという話も聞く。

②の土地・建物を評価の50%引きした理由は、用途が病院等に限られて、市場性がないとの理由だが、市長就任以後、多くの医療等の関係者が興味を示して面会されたとの議会発言もあり、市民病院建物の市場性が、あるか、ないかを言えば、現にあったともいえる。

③、医療機器の無償貸し付けについても、民間移譲直前に、市が、買ってただで貸す義務や必要性はないと思われる。

学校改築急ピッチ！あえて今、注文したい点とは

武雄小

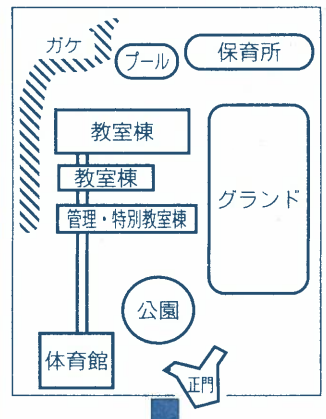
武雄保育所を先に移転してその土地を利用し、新体育館を明るい表に

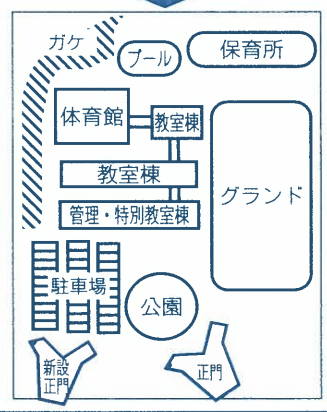
武小については、管理・特別教室棟(職員室・音楽や理科室など)の耐震補強。教室棟の新築。

体育館の新築を予定、教室棟はプレハブ仮校舎を使うことが多いが、体育館については、別の場所に新築する方法を取ると言う。

そこで、今回の配置計画によれば、学校の一番奥で、東と南を教室棟に包囲され、北は土手がけ、西は断崖とどう考えても、これからの武雄町北部の社会体育等の拠点としても期待される事を考えれば、利用しずらいと思う。

用地が、限られてやむを得ないとの話も聞くが、市は武雄保育所を、本来、H21～22年に移転するとしていて、それを実行すれば隣接する土地を活用して、もっと表の方に使い勝手良く建設すべき。





武雄中

テニスコートは4面に 体育館と武道場は合体し見学席を

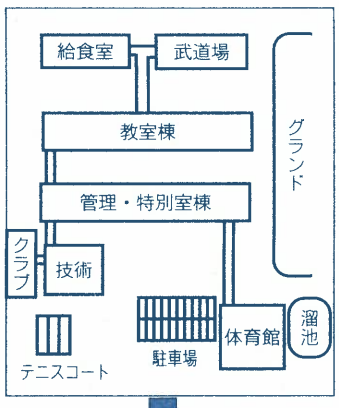
現在、黄色い技術棟(旧教室)とテニスコートを廃止し、その場所にプレハブ仮校舎を業者が建設し市がリースする。(エアコン付)

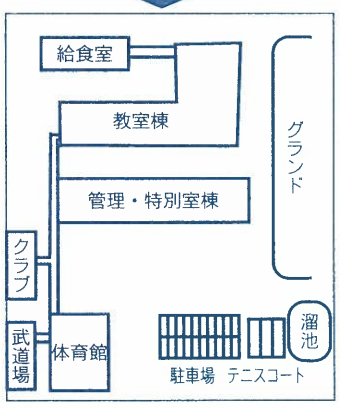
10月1日引越し済み。その間、教室棟の解体新築を行いH24年2月の完成予定。

現在の教室と廊下中心の4階建てが今度、3階建てで少し幅広くなり中庭的なものも作られ、ゆとりある建物になるようです。

その後、プレハブ教室跡に、体育館を建設し、現在の体育館の所にテニスコートを3面作る様に計画してあるが、どうせ作るなら、私が以前から提案している様に、隣接の「重箱堤」を埋立てて、試合等が出来る様に4面を望む。また武中テニス部は、少年(ジュニア)がない関係か、入部者も多い。

また、新しい体育館と武道場は別に作らず合体し、観客席確保を。





武雄保育所の移転新築計画

旧武雄市は、H15年に、「公立保育所」の管理運営計画を策定した。内容は老朽化している市立保育園を基本的に民営化し同時に改築や整備を行なうというもの。

これまで、川登保育所・若木保育所・朝日保育所と進めて来た。

ただ、武雄保育所については、市内、保育所の拠点として、また夜間保育・休日保育・障害児保育などの、民間で取り組みにくい保育を実施する為に、唯一公立として、近隣に移転新築するとしてあり、時期は、H21～22年となっていた。新市になっても同様の位置づけだが、まったく進んでいない。

私としては、保育所の移転が、隣接する武雄小学校の改築計画にも影響すると思うし、保育所自体も、特別保育を実施していないので、計画通りに完全実現を望む。

企業誘致の先行き心配！ 市長公約の実現望む

私は、市の本年度の、最大の仕事は、来年度、春に完成予定の、新工業団地への企業誘致の成果を上げる事と思っている。

そこで、市の取り組みと、現在の状況をたずねると、企業の反応は厳しい事と、実際の誘致活動は、県の東京・大阪事務所が中心に動いているとのことだが、具体的な話しはまだないとの事。

私は、県は新規の新産業エリアの鳥栖・唐津・有田・武雄と4ヶ所の工業団地に配慮しなければならないと思うので、**やはり、武雄市独自にも、誘致活動をすべきと考える。元々、樋渡市長は、企業誘致や学校誘致の力を掲げて、就任されたはずであり、責任を持って公約を果たして欲しい。**

子宮頸ガン見送り インフルエンザ補助へ

市民はどちらを望む？

唯一、予防のできると言われる子宮ガンのワクチンが、昨年、国の承認を受けたことから、にわかに、注目を浴びて来た。

住民の健康を支える自治体としても、接種の補助をして推進する所も出て来た。3回接種が必要で、費用は、5万円程度と高額。

効果的とされる、中学生を中心に、近くの大町町では、費用の全額、嬉野市・多久市では半額補助し、ガン対策に取り組む模様。

一方、武雄市は、大学教授を招いて、ガンに関する講演会など活発なので、当然、この子宮頸ガンのワクチン全額補助して推進されると思ったが、補正予算は見送り、来年度から考えるとの話。

それは、現在、国が来年度、150億円予算予定している事から、その行方を見て判断しようとしているようである。

一方、そのかわりに、インフルエンザの予防接種に、**0才～中学生まで、1人当り2000円**を補助する予定。ただ、13才以上は1回で良いが、それ以下は、2回の接種が必要で、1回当り1000円の補助となり、保護者の負担は多くなる計算になる様です。

一方、昨年は、新型インフルエンザで、当初、空港で隔離並みの対応から、最後は、通常のよりも弱毒性である事が知られて来たためか、小中学生の予防接種率は約50%しかなく、県の補助金351万円を返還した。

今回、市単費で、1542万円で、3価ワクチン(新型・季節型の混合)の市内医院等で受付実施。

※65才以上の高齢者は2400円補助あり。(自己負担1200円)

北方町の動き

先の北方町中心部の特環公共下水道地区が、市設置の戸別浄化槽地区に来年4月より変更される予定なので、水洗化を考えの方は工事の時期に注意が必要です。

また、同地区に、都市計画区域を設定し、区画整理や都市計画道路を作る目標で、現在、町民に提案する原案を市で作成中と言う。

また、北方町まちづくり協議会の提案された、町民グランドの芝生化が、国の緊急経済対策「きめ細やかな事業」交付金で整備されている。

大崎地区の交通緩和が見込める北方バイパスについて、昨年6億円が付いていたが、今年度は、8000万円に激減している、現在地盤改良などがされている。

私も以前提案していた、リムス横の押しボタン式信号機の感応式信号への変更要望が区長会の取り組みにより本格的に実現になる見込み。

ふるさと創生1億円で作ったオレンジ街路灯約80本の柱の塗料はがれを順時補修していくとの答え。

山内町の動き

現在、山内中学校の普通教室の新築建て替えを含めた全体の配置の計画が進められている。関係者だけでなく、広く町民の声を生かした計画になる事を願う。

また、ipadを使った教育実習が、山内東小で40台導入して行われるが、早く他の学校の生徒にも機会が与えられる事を望む。

また、山内中央公園グランドのトイレを建替え、同時に水洗化する。1068万円。

次に、山内支所内のトイレの一部を、オストメイト(人工肛門)対応に改造する。85万円。

老人福祉センターさざんか荘が利用者が少なく活用をお願いします。

旧武雄市の動き

【武雄町については】

新武雄病院予定地の東に830万円で11m道路を作る。またその先の「戸樋渡橋」も架け替え予定。また新武雄病院の造成地に、工業団地の、土を無償提供し、特別待遇？

白岩ゲートボール場が野球場東に6面あり、奥に広げて2面追加。

区画整理については、近く駅前永松地区の仮替地指定(家の移動先提案)がされる模様。

西浦通り拡張は、中町通りまで2～3年で完成させるらしく、解体も始っている。

【朝日町については】

朝日小学校西の武雄―高橋線の入札が済んだ。

また、来年4月戸別化槽地区に。

【若木町については】

498若木バイパスの、橋や立体交差部が先に作られている。

制作後記と今後のプラン

菅新内閣で、元鳥取県知事の片山氏が総務大臣になられ、地方分権が進む事を期待します。

地方の事は、地方で決める事は、税の有効活用やムダの削減になるとも思われます。

ただ、その地方の受皿としての地方議会に対する信用度は全国的に低いとの調査もあります。

武雄市の皆様はどうですか？議会改革が必要ですが、議員が議員の事を決めるのは、限界があります。ただ、活発になるのが定員削減要望があった時です。

だから、議員は、何人が必要なのか？削減した場合、チェックや市民要望をどう行政に伝えるのかなど、市民の意見や行動を期待。

【訂正】 42号の議長・副議長選の票数18票の部分は16票と白票2票でしたので訂正しおわびします。